

2020年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年8月11日

上場会社名 株式会社マミーマーケット 上場取引所 東
 コード番号 9823 URL http://www.mammymart.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 岩崎 裕文
 問合せ先責任者 (役職名) 財務部長 (氏名) 岩本 潤 TEL 048 (654) 2514
 四半期報告書提出予定日 2020年8月11日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年9月期第3四半期の連結業績（2019年10月1日～2020年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年9月期第3四半期	91,893	12.5	3,949	131.2	4,244	108.6	2,731	110.8
2019年9月期第3四半期	81,709	4.5	1,707	△23.6	2,034	△20.2	1,295	△19.9

(注) 包括利益 2020年9月期第3四半期 2,768百万円 (128.9%) 2019年9月期第3四半期 1,209百万円 (△25.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年9月期第3四半期	256.10	—
2019年9月期第3四半期	120.05	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年9月期第3四半期	56,307	25,964	46.1	2,439.52
2019年9月期	55,119	23,871	43.3	2,209.43

(参考) 自己資本 2020年9月期第3四半期 25,941百万円 2019年9月期 23,850百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年9月期	—	18.00	—	18.00	36.00
2020年9月期	—	18.00	—	—	—
2020年9月期（予想）	—	—	—	18.00	36.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2020年9月期の連結業績予想（2019年10月1日～2020年9月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	122,500	12.4	4,100	149.6	4,500	112.4	2,900	315.9	272.08

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有
 詳細につきましては、本日2020年8月11日公表の「通期連結業績予想に関するお知らせ」を
 ご参照ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年9月期3Q	10,796,793株	2019年9月期	10,796,793株
② 期末自己株式数	2020年9月期3Q	163,002株	2019年9月期	1,955株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年9月期3Q	10,666,024株	2019年9月期3Q	10,794,841株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想は、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成されたものであります。実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループ(当社及び連結子会社)は「Enjoy Life !」を基本方針として「お客様に満足いただける持続的な成長店舗作り」をメインテーマに、「基盤の整備」、「人財育成」、「生産性改善」、「商品力強化」の4つの重点項目に施策を進め、消費者の多様なニーズに対応し、更なる業績拡大へ繋げてまいりました。

当第3四半期連結累計期間の小売業を取り巻く経営環境は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響から、消費者の節約志向の高まり、利便性優先の購買行動への変化による業種・業態を超えた競合の発生など、厳しい状況が続いておりますが、当社は「より良い商品をより安く」の企業理念のもと、「全力家計応援」を掲げ、ベーシック商品の持続的な低価格での提供を実行し、在宅率の高まりによる肉食需要に応じてまいりました。

また、新型コロナウイルス感染症への対策と致しまして、従業員の感染予防対策(マスクの着用、手洗い、消毒、毎日の健康状態のチェック、衛生管理の徹底)と売場での感染予防対策(アルコール消毒液の設置、レジへの透明間仕切り設置、レジにてお待ちいただくお客様への間隔確保案内等)といった取り組みを徹底し、3密を避けた営業を続け、地域のライフラインとしての役割を再認識し、お客様が安心・安全にお買物できるよう取り組んでまいりました。

[基盤の整備]

店舗の積極的な改装に着手し、既存店舗の活性化を進めております。この一環として、タブレット、ネットワーク環境の整備といった設備更新、セミセルフレジの導入とともに、時間帯別人員配置の適正化、商品回転率・鮮度の向上、品切れ防止を重視した売場展開を実現し、基盤の整備を進めてまいりました。

[人財育成]

「M3プロジェクト」(改善活動)では、推進の一環として全従業員が「主体的に」日々の課題や問題点を解決・改善へとつなげていくことで、やりがいや達成感を感じられる社内制度、環境づくりを目指しております。今後はこの活動を従業員の取り組みを重視した新たな人事評価制度にも反映させ、積極的な人財育成を実施してまいります。

また、マニュアル改定を全部署で進め、業務を細分化して学ぶことができる社内教育環境の形成へと役立ててまいります。

[生産性改善]

効率の良い店舗運営を目指し、単品量販型の売場づくりや作業工数の少ない陳列什器の導入をはじめとした店舗改装、新規出店での新たな取り組みを既存の店舗へも導入し、更なる生産性向上を実現する店舗モデルを構築する事を目的に社内プロジェクトを発足し、その取り組みを進めてまいりました。

[商品力強化]

「おいしい健康を咲かせよう」を合言葉に、素材から製法、機能性などにこだわった商品をお値打価格で提供する当社オリジナル商品の開発に取り組んでおり、継続してプライベートブランド品の拡大に努めてまいります。

また、生鮮部門では産地との直接取引により、味と鮮度の向上に継続して取り組んでまいります。

設備投資としましては、マミーマートにおきまして、2020年6月に船橋日大駅前店(千葉県船橋市)を改装いたしました。当四半期の店舗数は、温浴事業・葬祭事業を含め78店舗であります。

この結果、当第3四半期連結累計期間の連結営業成績は、売上高91,893百万円(前年同期比12.5%増)、営業利益3,949百万円(同131.2%増)、経常利益4,244百万円(同108.6%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益2,731百万円(同110.8%増)となりました。

セグメント別の営業の状況は以下のとおりです。

[スーパーマーケット事業]

当第3四半期連結累計期間は、売上高91,589百万円（前年同期比12.6%増）、セグメント利益3,951百万円（同136.0%増）となりました。

[その他の事業]

売上高304百万円（前年同期比20.5%減）、セグメント損失2百万円（前年同期は33百万円の利益）となりました。

- (注) ・「Enjoy Life !」は、お客様に毎日の食生活を通じて健康で充実した人生を楽しんでいただくことを目的とした、当社グループ独自のコンセプトです。
・「M3」とは、My Mami Martの略です。企業理念の実現に向けた全従業員参加型の社内改善プロジェクトです。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末より1,187百万円増加し56,307百万円となりました。これは主に、リース資産の増加によるものであります。

負債は、前連結会計年度末より905百万円減少し30,342百万円となりました。これは主に、借入金の減少によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末より2,092百万円増加し25,964百万円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、消費者の購買動向の変容、企業の経済活動の停滞が起きており、今後も感染拡大の状況や経済活動の動向など不確定要素が多く、その影響を見極めることができず、通期連結業績予想を取り下げておりましたが、現時点の事業環境や業績動向、並びに当期末までの一定の前提条件を踏まえて算定いたしました通期連結業績予想を公表いたします。

現時点におきましても、同感染症は予断を許さない状況であります。従いまして、通期連結業績予想を策定するにあたり、更なる感染拡大や長期化を仮定し、当期末まで影響が残ることを前提条件としております。今後、何らかの変更がある場合には、適切に開示してまいります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,936	2,434
売掛金	1,289	1,671
商品	2,749	2,668
貯蔵品	15	13
その他	1,373	1,369
流動資産合計	8,364	8,157
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	11,779	11,802
機械装置及び運搬具(純額)	171	167
土地	20,868	20,837
リース資産(純額)	321	1,981
建設仮勘定	747	616
その他(純額)	1,254	1,474
有形固定資産合計	35,142	36,880
無形固定資産	132	151
投資その他の資産		
投資有価証券	226	176
長期貸付金	240	215
差入保証金	7,481	7,147
賃貸不動産(純額)	366	394
繰延税金資産	2,336	2,323
その他	829	859
投資その他の資産合計	11,480	11,116
固定資産合計	46,755	48,149
資産合計	55,119	56,307

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	6,220	7,002
短期借入金	6,540	500
1年内返済予定の長期借入金	4,086	4,880
リース債務	158	243
未払費用	2,623	2,458
未払法人税等	341	1,059
賞与引当金	468	165
資産除去債務	98	11
その他	663	958
流動負債合計	21,200	17,281
固定負債		
長期借入金	4,864	6,430
リース債務	1,182	2,670
長期預り保証金	1,513	1,437
転貸損失引当金	16	—
役員退職慰労引当金	333	334
退職給付に係る負債	1,259	1,308
資産除去債務	836	840
その他	42	40
固定負債合計	10,048	13,061
負債合計	31,248	30,342
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,660	2,660
資本剰余金	2,861	2,861
利益剰余金	18,407	20,753
自己株式	△2	△292
株主資本合計	23,926	25,982
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△20	3
退職給付に係る調整累計額	△55	△44
その他の包括利益累計額合計	△75	△41
非支配株主持分	20	22
純資産合計	23,871	25,964
負債純資産合計	55,119	56,307

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年10月1日 至 2019年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2020年6月30日)
売上高	81,709	91,893
売上原価	60,261	67,808
売上総利益	21,447	24,084
営業収入	1,018	1,002
営業総利益	22,466	25,086
販売費及び一般管理費	20,758	21,137
営業利益	1,707	3,949
営業外収益		
受取利息	40	37
受取配当金	8	8
不動産賃貸料	197	150
受取手数料	157	167
その他	134	122
営業外収益合計	538	485
営業外費用		
支払利息	32	29
不動産賃貸費用	176	130
その他	3	30
営業外費用合計	211	190
経常利益	2,034	4,244
特別利益		
固定資産売却益	1	0
資産除去債務戻入益	—	20
特別利益合計	1	20
特別損失		
固定資産除却損	10	8
投資有価証券評価損	—	67
特別損失合計	10	76
税金等調整前四半期純利益	2,025	4,189
法人税等	726	1,415
過年度法人税等	—	40
四半期純利益	1,298	2,733
非支配株主に帰属する四半期純利益	3	1
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,295	2,731

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年10月1日 至 2019年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益	1,298	2,733
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△95	23
退職給付に係る調整額	6	11
その他の包括利益合計	△89	34
四半期包括利益	1,209	2,768
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,206	2,766
非支配株主に係る四半期包括利益	3	1

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

(自己株式の取得)

当社は、2019年11月14日開催の取締役会において、会社法第165条第3項の規定に読み替えて適用される同法第156条の規定に基づき自己株式を取得することについて決議し、第1四半期連結累計期間に次のとおり実施いたしました。なお、当該自己株式の取得は2019年11月15日をもって終了しております。

(1) 自己株式の取得を行った理由

企業価値及び株主価値向上について継続的に検討を行っており、当該検討に基づく施策の一環として、経営環境の変化に対応すること、また、当社グループの成長を促進するためのインセンティブ・プラン等、機動的な資本政策を可能とするため。

(2) 取得に係る事項の内容

①取得した株式の種類	当社普通株式
②取得した株式の総数	161,000株
③株式の取得価額の総額	289,317,000円
④取得日	2019年11月15日
⑤取得方法	東京証券取引所の自己株式立会外買付取引 (ToSTNeT-3) による買付け

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2018年10月1日 至 2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益または損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント	その他 (注1)	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	スーパーマー ケット事業				
売上高					
外部顧客への売上高	81,326	382	81,709	—	81,709
セグメント間の内部 売上高または振替高	—	0	0	△0	—
計	81,326	382	81,709	△0	81,709
セグメント利益	1,674	33	1,707	—	1,707

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、温浴事業と葬祭事業であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2019年10月1日 至 2020年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益または損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント	その他 (注1)	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	スーパーマー ケット事業				
売上高					
外部顧客への売上高	91,589	304	91,893	—	91,893
セグメント間の内部 売上高または振替高	—	0	0	△0	—
計	91,589	304	91,893	△0	91,893
セグメント利益 又は損失(△)	3,951	△2	3,949	—	3,949

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、温浴事業と葬祭事業であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。